

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年08月04日

計画の名称	安心都市 豊明市の下水道												
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	豊明市												
計画の目標	<p>昭和46年8月供用開始の二村台地区は既に40年以上を経過しており老朽化が進んでいると考えられる。</p> <p>管路施設の破損による陥没事故等を未然に防ぐためにも管路施設の延命化、長寿命化を目指した維持管理、改築の基本方針を定めるとともに更新費用の平準化・効率化を図るため下水道管路施設長寿命化対策を実施する。</p> <p>また、迫りくる東海地震に対して主要な污水管渠の破損、マンホールの浮上等による下水道施設の機能停止を防ぐため、耐震改修を行い適正な維持管理をする。</p> <p>今後、増加していくストックを適正に管理していくため下水道整備計画を見直し、早期概成を目指して管渠整備を行っていく。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	358	A	356	B	0	C	2	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.55	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28年度末)	最終目標値 (H30末)
1	緊急に改築が必要である人孔蓋の改築率を0%(H25)から100%(H30)に増加させる。			
	緊急に改築が必要となる人孔蓋改築率 改築済みの人孔蓋(箇所)/改築をすべき人孔蓋(箇所)	0%	30%	100%
2	緊急に改築が必要である管渠の改築率を0%(H25)から100%(H30)に増加させる。			
	緊急に改築が必要となる管渠改築率 改築済みの管渠(m)/改築をすべき管渠(m)	0%	50%	100%
3	耐震性性能を検討すべきと判断された管渠の重要度・優先度が高い管渠約900mの耐震基準適合率を0%(H25)から100%(H30)に増加させる。			
	耐震性性能を検討すべきと判断された管渠の重要度・優先度が高い管渠約900mの耐震基準適合率 耐震性能を有する人孔(箇所)/耐震性能を検討すべき人孔(箇所)	0%	90%	100%
4	耐震性性能を検討すべきと判断された管渠の重要度・優先度が高い人孔16基の耐震基準適合率を0%(H25)から100%(H30)に増加させる。			
	耐震性性能を検討すべきと判断された管渠の重要度・優先度が高い人孔16基の耐震基準適合率 耐震性能を有する管渠(m)/耐震性能を検討すべき管渠(m)	0%	90%	100%
5	阿野平地地区の整備延長を0%(H25)から100%(H28)に増加させる。			
	阿野平地地区の整備延長率 整備済み管渠延長(m)/整備すべき管渠延長(m)	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	豊明市	直接	豊明市	管渠(汚水)	改築	下水道管路施設長寿命化対策	豊明処理分区 計画策定、マンホール蓋更新N=189箇所、管更生L=616m	豊明市						108		策定済
		長寿命化																	
	A07-002	下水道	一般	豊明市	直接	豊明市	管渠(汚水)	改築	下水道総合地震対策	管渠人孔耐震診断 豊明処理分区 管渠耐震対策L=8.9m、人孔N=1箇所、マンホールトイレ整備	豊明市						100		-
		総合地震																	
	A07-003	下水道	一般	豊明市	直接	豊明市	-	-	効率的な事業実施のための計画策定等	汚水適正処理構想見直し及びアクションプラン作成等	豊明市						36		-
	A07-004	下水道	一般	豊明市	直接	豊明市	管渠(汚水)	新設	下水道整備事業	区画整理地区の設計委託、埋設工事 L=0.5km	豊明市						26		-
	A07-005	下水道	一般	豊明市	直接	豊明市	管渠(汚水)	新設	下水道整備事業	公共下水道実施詳細設計業務委託	豊明市						71		-
	A07-006	下水道	一般	豊明市	直接	豊明市	管渠(汚水)	改築	下水道ストックマネジメント計画策定	下水道ストックマネジメント計画作成	豊明市						15		-

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 豊明市経済建設部下水道課において実施	事後評価の実施時期 事業終了後(R2年度)
	公表の方法 豊明市のホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	管路施設の延命化、長寿命化を目指した維持管理、改築の基本方針を定め、更新費用の平準化・効率化を図るため下水道管路施設長寿命化対策を実施した。また、迫りくる地震に対して主要な下水道施設の耐震改修を行った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・下水道総合地震対策 詳細診断・補強診断を行う。 ・下水道ストックマネジメント計画策定 管路施設のストックマネジメントは継続的に行うべきであり、点検・調査等の実績を踏まえ、その取り組みの見直しを行う。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	改築済みの人孔蓋(189箇所)/改築をすべき人孔蓋(189箇所)	
	最終目標値	100%
2	改築済みの管渠(616m)/改築をすべき管渠(616m)	
	最終目標値	100%
3	耐震性能を有する管渠(900m)/耐震性能を検討すべき管渠(900m)	
	最終目標値	100%
4	耐震性能を有する人孔(16基)/耐震性能を検討すべき人孔(16基)	
	最終目標値	100%
5	整備済み管渠延長(500m)/整備すべき管渠延長(500m)	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%